

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組みとして家族の参加や自治会・地域の主任ケアマネや社会福祉士等の参加があるなかで、より身近な情報として地域の民生委員やボランティア等への関わりが十分ではない。	地域密着型サービスを提供する施設として民生委員や地域で活動されている代表者の協力を仰ぎ、細やかな情報を把握出来るようにする。	地域密着型サービスとしての役割の一つとして地域住民の各代表である方の運営推進会議への参加をご協力頂けるよう努めていく。	12ヶ月
2	6	身体的拘束適正化委員会を中心に「身体拘束をしないケアの実践」を継続するなかで、危険防止や不審者侵入防止を目的とした施錠やユニット間の施錠に対しての「鍵をかけない生活」への工夫が十分ではない。	利用者様の安全を確保しつつ、自由な暮らしを支援できるよう工夫を行う。	リスクに関する家族等との話し合いを持つ。利用者様の安全を確保しつつ抑圧感のない自由な暮らしを支援する為に、職員自身が事故へ繋がる原因をひもとき要因を取り除くケアの実践が必要である。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。